



# 2008年度・平成20年度 事業報告書

2009年5月

学校法人山口学園  
**くずは青葉幼稚園**

## 学校法人山口学園くずは青葉幼稚園 平成20年度 事業報告書

### 1. 法人・幼稚園概要

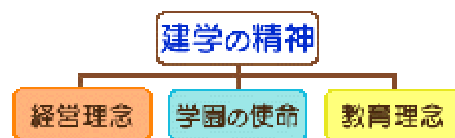
設置者	学校法人山口学園	学校名	くずは青葉幼稚園
所在地	枚方市北楠葉町38番1号	学校長氏名	園長 山口尚志
法人代表者	理事長 山口 亨	副理事長	山口尚志(代表権を有する副理事長)
理事会	理事7名、評議員15名、監事2名。 定例理事会 2回開催(決算5月・予算3月、承認) 臨時理事会 1回開催(経営改善計画11月、承認)		
定員学籍	定員400名/実員139名(平成20年5月1日現在)		
職員構成	園長1名、主任1名、教諭9名、園務員1名、嘱託バス運転手2名 (平成20年度新規教員採用2名。同年度末退職教員2名)合計14名		
建学の精神	「たくましく人間性豊かな子どもをめざす」		
沿革・教育方針・学園環境・指導方針・学費納付金・保育概要・預かり保育・情報公開[園概要]・課外教室・預かり保育・食育取組(給食内容)・当該年度募集要項等についてはホームページに詳細を掲載(本書記載略)			
その他	電話 072-857-8221 FAX 072-856-5944 メールアドレス info@k-aoba.ed.jp [http://www.k-aoba.ed.jp/]		

園章



## 2 . 2008年度・平成20年度 幼稚園運営指針

開園三十余年の実績を基盤に本園幼児教育の推進と充実を図るため、併せて「建学の精神」をより太くするため、年度初め（2008年度）に「経営理念」「学園の使命」「教育理念」の三つの柱を設定し、運営指針を定めた。この指針に基づき幼稚園運営を行なった。



### 経営理念

多様化、複雑化する社会構造と教育構造の真意を捉え、次代を担う子どもの生育を真摯に考え、変化を先取りする。また保護者ニーズの真意を捉え保護者との連携を構築し幼稚園教育の満足度を高めることをねらいとした。教職員は、業務並びに事業全てに対して「一生懸命な姿勢」を貫き、結果のみを重視することなく過程をも重視した教育を実践することを理念とし設定した。

教育水準の向上を図り、園の目的を実現するため教育活動その他の学校運営の状況について自ら点検及び評価（学期毎）を行い、その結果を新年度に公表することとした。

（2009年4月公開）

また、園の教育活動その他の学校運営の状況について保護者等に対して積極的に情報を提供。さらに危機管理体制を構築し、安全な幼児教育環境を設定した。

### 本学園の使命

保護者に文書並びにホームページを活用し、子育て情報、教育情報等を積極的に発信し、家庭・保護者教育力を高めることが成されるよう努力した。また、園庭開放を4月度から6月度については月2回の土曜日を開放日とし、7月以降年度末3月までは、月1回の園庭開放を実施し、未就園児保護者も含め家庭との連携を深め、子育て支援を充実させた。

### 教育理念

幼児体育・健康領域の重点指導 身体諸機能の調和的発達を目指した。2008年度は、従来に増して薄着奨励保育の見直しと紫外線対策を講じた。加えて「異年齢児」による総合活動を2007年度以上に推進し、教育日数を延べ3週間これに充てた。また、下記の教育指針・保育指針を全教員で年度初めに確認し、共通理解のもと実践に取りくんだ。

## 2008年度 教育指針・保育指針

本園は、幼児の「心身の成長」を促し、子ども達相互の「ふれあい」を大切にした教育環境を整えることが何よりも大切と考えている。そして、幼児がいろいろな生活体験を積み重ねることができるよう指導と援助を行い、「明るく伸び伸びした幼児の育成」を目指すことが教育目標である。幼稚園集団生活の中で、幼児期の「躰」を充分に行い、情緒の安定を図り、そして将来の社会の担い手となるよう、自主性と協調性をもった豊かな「個性の創造」を育むことに努力研鑽に努めている。「幼児の心身の成長発達を助長し明るく伸び伸びとした集団生活を行う」「幼児期の幅広い諸経験を通して自主性を培い、そして体得して表現し、さらに集中してやり遂げる」という幼児教育を目指している。2008年度は、それぞれの学年において下記の教育目標を設定し保育に努めた。

年長学年は、思いやりの気持ちをもって友だちと関わり、思いを伝えあう大切さを感じるとともに色々な活動に意欲をもち、目標に向かって精一杯取りくむ。

年中学年は、集団であそぶ楽しさを味わい、自分の力を発揮しながら何事にも最後までやり遂げる気持ちを持つ。

年少学年は、基本的な生活習慣を身につけ色々な活動に意欲的に取り組み、友だちとあそぶ楽しさを味わう。

全学年・幼稚園全体として異年齢による教育活動を通して以下の教育目標を設定した。異年齢の友達に親しみをもち関わりを深め、友だちとの生活の中で自分らしさを発揮する。

いろいろなクラス、学年の友達や保育者との関わりを楽しむ。すすんで関わりをもち、思いやりの気持ちを育む。

この取り組み、教育活動により本園の「建学の精神」がより太いものとなり、在園児に意義ある教育活動並びに幼児の発達の援助が成されたものと認識している。

健康教育の視点から今後の「薄着・裸足奨励保育」について以下の指針を年度初めに教員全員で確認し実践した。

薄着奨励保育の取り組み基本姿勢については、教育的趣旨を満たしているものと認識し、「薄着奨励保育」に「紫外線対策」(近年の紫外線の身体への悪影響等)を講じて十分に配慮し実践することとした。

以上の取り組みにより本園の「建学の精神」がより太いものとなり、在園児に意義ある教育活動並びに幼児の発達の援助が成されたものと認識し、十分とは言えないが実践した。

### 3. 自己評価の取り組み (2 - 関連)

評価項目に沿って自己点検自己評価を学期毎に行い、教員自らが客観的に指導や子どもとの関わりを省みた。年度終了時には、その総合評価を行い公開の準備を行い、新年度(2009年4月)に「学校評価」として在園児保護者の公開を行った。その後、ホームページに一般公開の処理を行い、学校評価としてひろく公開を行った。(尚、本園における「自己評価」は、既に2005年度より、教員の資質向上への意味もふくめ実施している)

### 4. 子育て支援事業

#### 預かり保育

2007年度同様に「預かり保育」を実施し、17時30分まで園児を預かり異年齢児による教育活動を実施した。また、初めて7月及び8月夏期長期休暇中(夏休み)に15日間、9時より17時まで預かり保育を実施し、子育て支援事業として位置づけた。

通常預かり保育	
預かり保育日数	年間172日
預かり保育延べ利用園児数	2924名
一日平均園児数	17名

夏期預かり保育	
預かり保育日数	15日
預かり保育延べ利用園児数	696名
一日平均園児数	46名

#### 園庭開放

園庭開放を4月度から6月度については月2回、7月以降年度末3月までは、月1回の園庭開放を実施した。未就園児並びに入園児、在園児保護者との家庭との連携を深めた。尚、参加者は一回のみの参加者、全回参加者も含め延べ115名におよんだ。継続して毎月参加された方は、約80名となり、本園入園を希望される方が56%の割合を占めた。また、過去三年間で園庭開放参加者、説明会参加者が少ない中で入園願書提出者が増加となった。これは、「入園したい」という意識が動いたと判断。園庭開放での幼児と保育者の関わりをより広く実践し、幼稚園に対する保護者意識を高めるよう環境を構成したことが有効となった。

#### 課外教室

継続して、課外教室を展開し広く子育て支援事業として位置づけた。募集時期等の適正化を行い、幼稚園生活と課外教室の連携を執るようにした。

### 5. 教育環境設備の充実

平成20年度、春期休業中(春休み)に従来より使用の預かり保育室の改修工事、並びに手洗い所の全面改修を行った。併せて、園庭の花壇の改修工事、不審者対策・園児安全対策の一環として幼稚園敷地フェンスの改修(フェンス高さの引上げ等)を行った。

これは、当面の預かり保育事業並びに安全対策を基本として実施したものであり、平成20年度以降に有効なものと感じるところである。主改修事業は下記の通り。

#### 預かり保育室の全面改修

[事由 / 幼児を保育・生活する環境として不具合有り。本来、旧職員室であったため構造上、保育に適さなかった]

#### 年中園舎手洗い全面改修

[事由 / 水道カランの位置が高く、踏み台を設置して手洗いを幼児が行っていたため安全上の観点より全面改修]

#### 園庭西側フェンス、園前道路添いフェンス、正門スロープフェンスの全面改修

[事由 / 30年の設置経過となり、消耗度合いが激しく危険な状況(破損等)にあり、全面改修]

その他[上記に関連する一部造作物(花壇、保育室カーテン等)]

改修経費については、理事長山口亨個人よりの借入金を以て支払に充てることとした。

## 6 . 納付金の改訂 (入園一時金施設協力金の兄弟姉妹関係児減免措置)

保護者の経済的負担を最小限に抑え、兄弟姉妹関係児の保育料減免措置を執っているところであり、この他にも空調費の減免措置も実施している。この趣旨に則り、平成21年度入園者より入園一時金の内、施設協力費2万円を在園並びに卒園の兄弟姉妹関係の入園者[納付義務者 = 保護者]に対して減免措置をとることとし、理事会で承認がなされた。故にこの措置は、平成21年度入園該当者より施行するが故に平成20年度内納付分より減免実施とした。[園則変更済]

## 7 . 経営改善計画の策定

過去より経費節減に努めてきたが、平成19年度と平成18年度の対比では、管理経費全体で約2800千円の節減につとめた。主な要因は、経費節減並びに減価償却額の減少となり、管理経費支出を抑制したこととなった。また、修繕費支出を抑えたが、平成20年度には、保育室改修工事(前ページ記載)を実施し平成20年度決算では、大幅に支出が決算上表示されることとなった。経営改善計画の根幹は上記の経費節減と学籍園児数の増大であり、今後の園児募集活動内容の充実を図る旨の計画を立案した。

また大阪府私学助成カットが、平成20年度に打ち出され、経常費補助金の削減となったが、配分基準により精査すると、園児減少による園要素の単価減少(140名以下の配分単価 / 平成20年度本園実員は139名の構成要件)が大きく影響したものと判断できる。

尚、経常費補助金の配分要素として「経営改善計画」の策定により、400千円の配分要件を満たし本園においてもこれを策定し、経常費補助金の増額が得られた。経営改善計画は、平成20年度から平成24年度の五年間についての計画を策定した。

## 8. その他

### 組織運営体制 理事長・理事会の役割と責任

理事長、体調不調により従来よりは、幼稚園業務内容について詳細に直接確認することは難しくなったが、副理事長（園長）がこれに代わり理事長に詳細にわたり報告し法人運営について円滑化されている。併せて、私立学校法改正の際に、本法人の代表権のある副理事長としたことより、何ら問題なく業務を遂行している。

### 教員の資質向上

平成20年度、園内での「研究保育」の他に下記の通り、園外において研修を実施した

	研修日時	研修内容	研修主宰者・参加者
1	2008年 5月17日	発達障がい早期発見のポイント	大阪医科大学LDセンター / 園長、主任他4名
2	2008年 8月18日～	劇あそび・運動あそび研修	日本幼年教育研究会 / 教員3名
3	2008年 8月30日	幼稚園での言葉の指導	大阪医科大学LDセンター / 園長、主任他8名
4	2008年12月22日	教員免許更新制度に関する研修	大阪府教育委員会 / 主任
5	2009年 3月26日	大阪府私立幼稚園教育研究大会	大阪府私立幼稚園連盟 / 園長、主任他8名

### 園児健康管理（職員）

検尿検査 5月14日、寄生虫検査 5月8日、歯科検診 6月6日、内科検診 6月5日実施  
職員健康診断 6月26日実施

### 幼稚園行事（事業）の大要実施報告

04 / 03 入園式	09 / 01 2学期始業式	01 / 09 3学期始業式
04 / 10 1学期始業式	09 / 12 敬老の集い	02 / 03 節分
05 / 01 子どもの日の集い	09 / 23 運動会	02 / 21 生活発表会
05 / 16 遠足(枚方パーク)	10 / 21 遠足(太陽が丘公園)	02 / 23 観劇
06 / 15 日曜参観	10 / 28 いもほり	03 / 03 雛祭り
07 / 12 お泊まり保育	11 / 13 七五三参拝	03 / 12 お別れ会
07 / 17 1学期終了式	11 / 15 作品展	03 / 16 卒園式
07 / 19 青葉まつり(夏祭)	12 / 01 楽団公演	03 / 19 平成20年度 終了式
	12 / 12 音楽会	
	12 / 19 2学期終了式	

## 平成20年度 学籍及び小学校区別在籍数及び卒園児数

学籍 3歳児42名、4歳児51名、5歳児46名 計139名

大阪府内 13小学校区 116名 在籍

京都府内 4小学校区 23名 在籍

就学児数(卒園) 16小学校 46名 就学

以上、平成20年度 学校法人山口学園くずは青葉幼稚園の事業について報告する。

平成21年5月1日

学校法人山口学園

理事長 山口 亨 公印

くずは青葉幼稚園

園長 山口尚志 公印

文責 / 学校法人山口学園副理事長・くずは青葉幼稚園園長 山口尚志

学校法人山口学園

## くずは青葉幼稚園

〒573-1102 枚方市北楠葉町38番1号

電話 072 - 857 - 8221 FAX 072 - 856 - 5944

Mail address [info@k-aoba.ed.jp](mailto:info@k-aoba.ed.jp)

2009年5月1日発行